

# レスポンシブル・ケア活動【14,15,50,DMA,LA10】

## 花王のアプローチ

日々の安全確保と環境保全を図るため、化学に携わる企業の自主管理活動である「レスポンシブル・ケア(RC)活動」に取り組んでいます。

## 社会的課題と花王のアプローチ

製品の安定供給、その品質や安全性の確保、安全で衛生的な労働環境の提供、事業活動による環境負荷の低減は、国内外に拠点を設け、幅広い産業界に多種多様な素材・製品・システムを提供する化学メーカーとして、果たすべき重要な社会的責任です。

こうした考えのもと、花王は、化学産業界の自主的な環境・健康・安全を確保する活動である「レスポンシブル・ケア(RC)活動」を推進することで、社会との信頼関係の構築、持続可能な社会づくりをめざしています。

## 方針

花王は、商品の開発・生産・物流・使用・廃棄・リサイクルまでの事業の全段階において、人の安全と環境の保全に十分配慮し、サステナブルな社会の実現に貢献していくことを理念に掲げています。

1995年の日本レスポンシブル・ケア協議会設立当初から「レスポンシブル・ケア(RC)活動」に参加しており、2008年には当時の尾崎社長が「RC世界憲章」の支持宣言書に、さらに2014年には澤田社長が改訂された「RC世界憲章」にそれぞれ署名を行ない、RC活動を花王グループ全体で推進していくことをコミットしています。

化学産業界の「環境・安全・健康」に関する自主管理活動「レスポンシブル・ケア(RC)活動」の基本項目※の考え方に則った「花王レスポンシブル・ケア方針」を定め、協力会社を含めた花王グループ全体で毎年目標を策定し、年間計画に基づいた活動を継続的に行なっています。

※ レスポンシブル・ケア(RC)活動の基本項目  
「環境保全」「保安防災」「労働安全衛生」「化学品・製品安全」「物流安全」の5つの推進項目と「社会とのコミュニケーション」

⇒花王レスポンシブル・ケア方針  
[http://www.kao.com/jp/corp\\_csr/eco\\_activities\\_05\\_00.html](http://www.kao.com/jp/corp_csr/eco_activities_05_00.html)

## 体制

レスポンシブル・ケア推進委員会は、社長が委員長を務める内部統制委員会内の一委員会として位置づけられています。委員長をサステナビリティ推進部長が務め、日本国内の8つの推進部門※の代表に加え、4部門の代表と品質保証本部の担当を加えた委員14人で構成しており、毎年1回開催しています。事務局はサステナビリティ推進部RC推進グループと品質保証本部

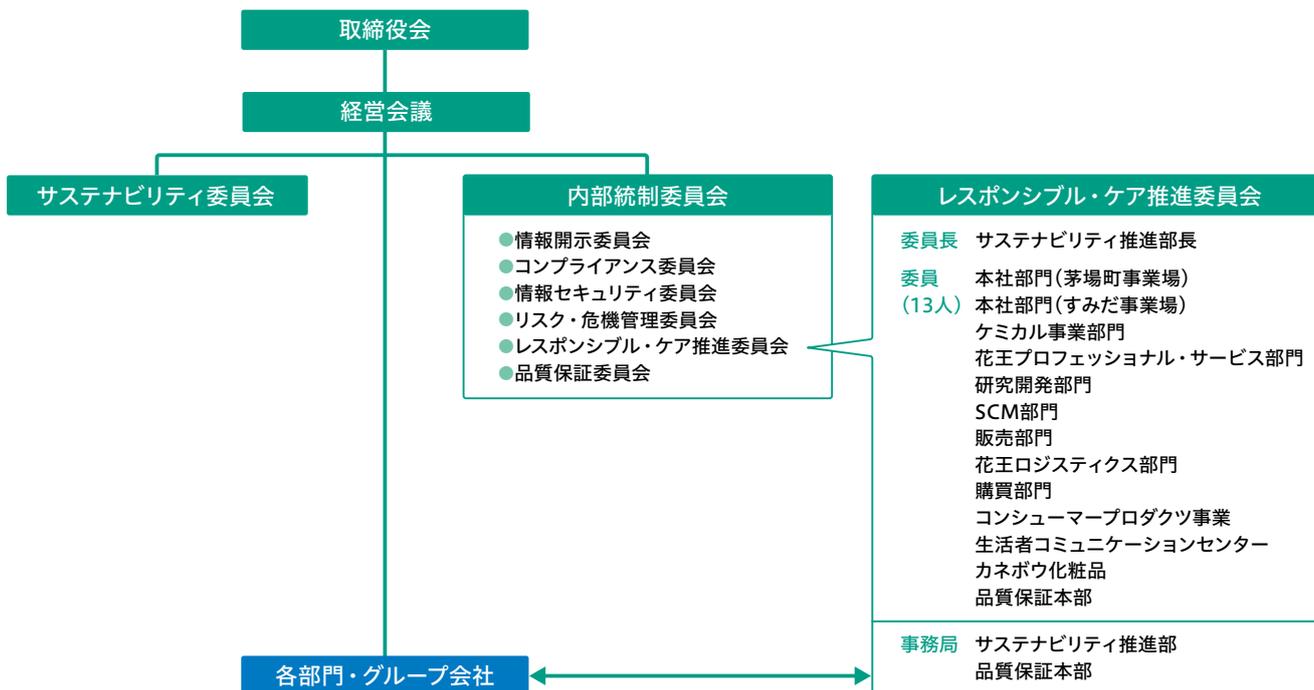
が務めています。

花王(株)を含む花王グループ内各ケミカル会社は、各国の化学工業会に参画しRC活動を推進しています。

※ 8推進部門

本社部門(茅場町事業場)、本社部門(すみだ事業場)、ケミカル事業部門、花王プロフェッショナル・サービス部門、研究開発部門、SCM部門、販売部門、花王ロジスティクス部門

### RC推進体制



## 教育と浸透

グローバル

RC推進事務局や各推進部門のRC担当者は、社員や協力会社の社員を対象に、環境や労働安全衛生活動などのRC教育を定期的実施しています。

2016年にRC推進事務局が社員を対象に実施したRCの集合教育は46回、のべ622人(国内22回、468人/海外24回、154人)が参加しました。

## 中長期目標

グローバル

花王は2020年にグローバルでトップレベルの安全確保と環境保全を満たす企業になるべく、日々のRC活動を推進しています。

## ステークホルダーとの協働

グローバル

花王グループ各社はRC活動の基本項目の一つである「社会とのコミュニケーション」に則り、積極的にステークホルダーとの交流等、さまざまな活動を実施しています。

→P99「コミュニティ>社会貢献活動 全体像」

## 具体的な取り組み

### RC活動の標準化

グローバル

日本国内の8推進部門およびすべての海外関係会社は、RC推進委員会で決定された花王RC目標をもとに、それぞれの業務内容や業種・業態に応じた活動計画を立案し、RC活動を推進しています。

花王グループ各社はこのような推進体制で、RC活動のPDCA(Plan-Do-Check-Act)サイクルの確認、向上を図っています。

毎年9月に開催する「花王グループRC推進委員会」では、活動方針の徹底やマネジメント体制の強化に関する施策を討議するほか、花王グループの中期目標と8月に行なうRC事務局監査の結果をもとに、次年の数値目標と活動目標を審議します。

10月に開催する「グローバルRCミーティング」では、RC推進事務局から「花王グループRC推進委員会」で決められた花王グループの中期および次年目標の説明を行ない、各社に次年の目標と計画の策定を依頼します。各社からはRC活動状況を発表し、グループ間での情報の共有を図ります。

12月に開催する「日本RCミーティング」では、「花王グループRC推進委員会」で決められた花王グループの数値目標と活動目標をもとに、各推進部門のRC推進委員が次年の計画案を発表し、一つひとつ審議します。この会議で承認された内容は、RC推進委員が各推進部門に持ち帰り、推進部門ごとにより細かく設

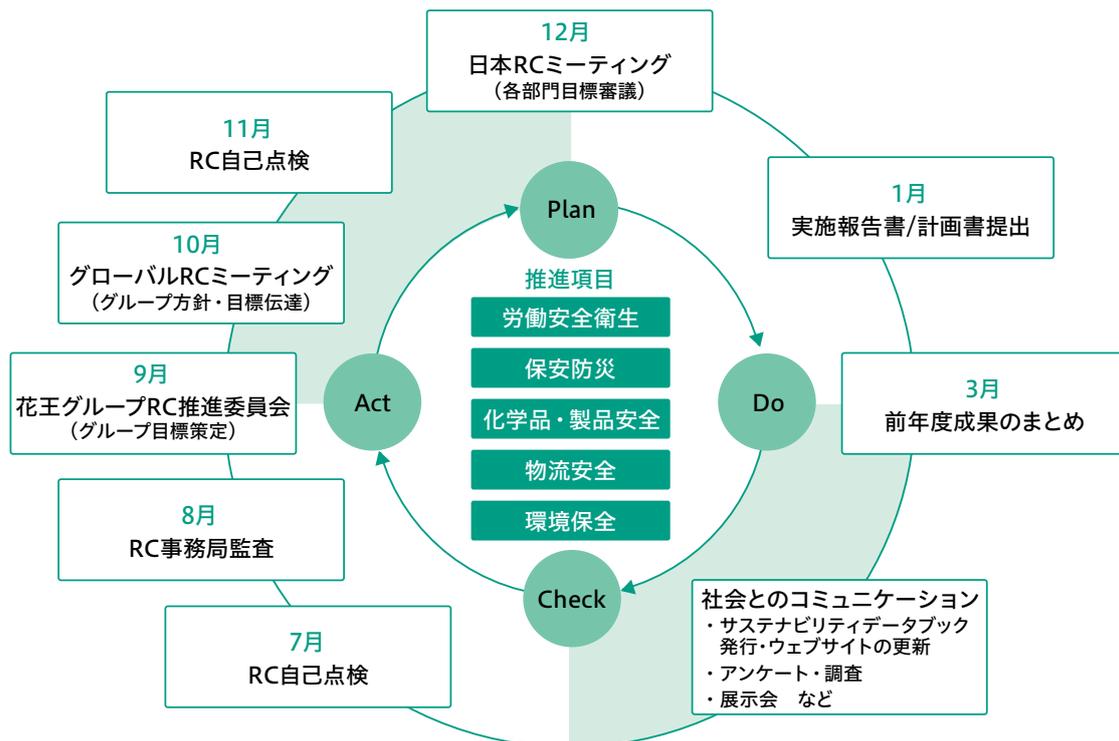
けた活動ユニットへ伝えることで、現場に密着した活動の継続的な改善・レベルアップを図っています。

2016年は9月14日に「花王グループRC推進委員会」を開催しました。事務局からは2016年のRC目標に対する花王グループ全体の上半期の実績やRC事務局監査結果を報告しました。また、推進部門から各部門での推進活動状況を発表し、最後に審議事項として、2017年の花王グループRC目標が承認されました。

10月3～5日には「グローバルRCミーティング」を和歌山工場で開催し、日本以外では13のグループ会社(前年13会社)から16人が参加しました。会議では花王グループのRC活動方針の理解を深め、2017年の目標の確認を行なうとともに、RC活動の活性化とレベルアップを目的に各社のRC活動の状況確認とアドバイス、強み弱みの理解、ベストプラクティスの共有、グローバルRCメンバーのコミュニケーション強化を図りました。また、2016年は、マザー工場である和歌山工場で開催したため、生産施設の見学を取り入れました。安全対策などについて現場で直接担当者から説明を受け、具体的な活動の理解が深まりました。

12月5日の「日本RCミーティング」では、各推進部門のRC推進委員が2017年の計画案を発表し、審議・承認されました。また事務局から2016年の環境・安全の実績報告を行ないました。

#### RC活動の年間サイクル



## 環境・安全データベースなどを活用

グローバル

花王は、環境負荷の低減や労働災害・事故発生数の低減を図るための環境・安全データベースである「環知安システム」※を構築して運用しています。

このシステムでは、花王全体の温室効果ガスの排出量や労働災害の発生度数率・強度率などを自動算出することができ、環境負荷低減や労働災害防止に活用しています。

グループでより効率的に環境・安全データを利用するために、

2018年をめぐりに、新しいシステムへの移行を検討しています。

※ 環知安システム

エネルギー使用量、温室効果ガス排出量、ばい煙排出量、水使用量、排水量、排水濃度測定結果、土壌・地下水測定結果、PRT法対象化学物質の取扱量および排出量・移動量、廃棄物等の発生量・排出量・最終埋立処分量、労働災害統計、交通事故統計など、多様なデータを共有している。

## RC事務局監査実施状況

グローバル

花王は、RC活動の進捗状況や課題を把握するために、7月に各推進部門が活動ユニットに対してRC自己点検を、8月にRC推進事務局が国内の各推進部門および海外グループ会社に対して、RC推進委員会事務局より選出された監査チームが監査を実施しています。

また、これらの結果を9月の「花王グループRC推進委員会」で報告するとともに、翌年の数値目標や活動目標の策定に活かしています。

2016年は7月から8月にかけて、国内8推進部門、海外は安全と環境面の影響度を配慮して工場を持つグループ会社20社（前年より3社増加）※に対して、チェックシートを用いてRC事務局監査を実施しました。

日本については、各推進部門と対面で法的要求事項・基準等の遵守状況、計画の進捗状況や数値目標の達成状況などを確

認しました。2015年の監査で指摘したリスクアセスメント、法的要求事項の特定、教育訓練を進める手順や基準、実施記録などに改善が見られました。

海外については、チェックシートを送付し、その回答結果について書類監査を実施しました。特に労働安全のリスクアセスメントや、廃棄物の削減計画にリスクを特定したので、それぞれの改善計画を依頼しました。

なお、これら監査結果（下表参照）はRC推進委員会およびグローバルRCミーティングにて報告しました。

※ 上海花王、上海佳麗宝化粧品、花王（合肥）、上海花王化学、花王（上海）化工、葫芦島錦星鑄造材料、花王（台湾）、花王（ベトナム）、ピリピナス花王、花王タイ実業、ファティケミカル（マレーシア）、花王（インドネシア）、花王インドネシア化学、花王USA、花王スペシャルティーズアメリカズ、キミ花王、花王マニュファクチュアリングジャーマニー、ドイツ花王化学、モルトンブラウン、花王（スペイン）

### RC事務局監査実績（2016年）

	SCM部門	研究開発部門	事業部門	コーポレート部門	国内グループ会社※1	海外グループ会社※2
設問数	154	128	181	368	438	3,524
継続観察が必要な項目	2	4	3	7	14	—
評価平均点（5点満点）	4.87	4.96	4.73	4.38	4.51	4.16

※1 国内グループ会社

花王プロフェッショナル・サービス（株）、花王グループカスタマーマーケティング（株）、花王カスタマーマーケティング（株）、カネボウ化粧品販売（株）、花王ロジスティクス（株）

※2 海外グループ会社

20社（アジア13、欧米7）

Topic

## 花王ロジスティクス(株)が「レスポンスブル・ケア(RC)賞」の大賞を受賞

花王ロジスティクスが「配送業務の交通事故削減と環境負荷低減をめざした取り組み」で、一般社団法人日本化学工業協会「第10回RC賞」の大賞を受賞しました。花王グループからの受賞は、2014年から3年連続となります。今回の受賞は、花王ロジスティクスが「日本一安心して安全な物流会社をめざして」を旗印に、10年以上にわたって推進してきた交通事故撲滅と省エネの活動の成果が高く評価されたものです。



表彰式

## 国際マネジメントシステム認証状況

グローバル

花王は、RCマネジメントシステムを全拠点を対象に導入していますが、環境の国際規格であるISO14001、労働安全衛生の規格であるOHSAS18001の認証や各国の認証も受けています。

### ISO14001等認証取得状況(環境関係)

外部認証を受けている工場の割合は95%です(総生産量重量基準)。

活動の標準化・高度化をめざし、個別工場で取得している認証の統合を実施してしており、日本とアジアの15工場で完了しました。今後、統合する工場を増やすとともに、認証取得拠点の拡大も実施していきます。

### OHSAS18001等認証取得状況(安全衛生関係)

労働安全衛生のマネジメント規格は、国内と比較して労働災

害が多く、労働管理の強化が必要な海外の工場を取得を推進しており、その割合は35%です(総生産量重量基準)。今後は認証取得工場の拡大を検討していきます。

### ISO9001認証取得状況(品質関係)

外部認証を受けている工場の割合は95%です(総生産量重量基準)。今後、認証取得工場を拡大していきます。

### 外部認証取得一覧

→「ISO等認証取得一覧」

[http://www.kao.com/jp/corp\\_csr/eco\\_activities\\_02\\_11.html](http://www.kao.com/jp/corp_csr/eco_activities_02_11.html)